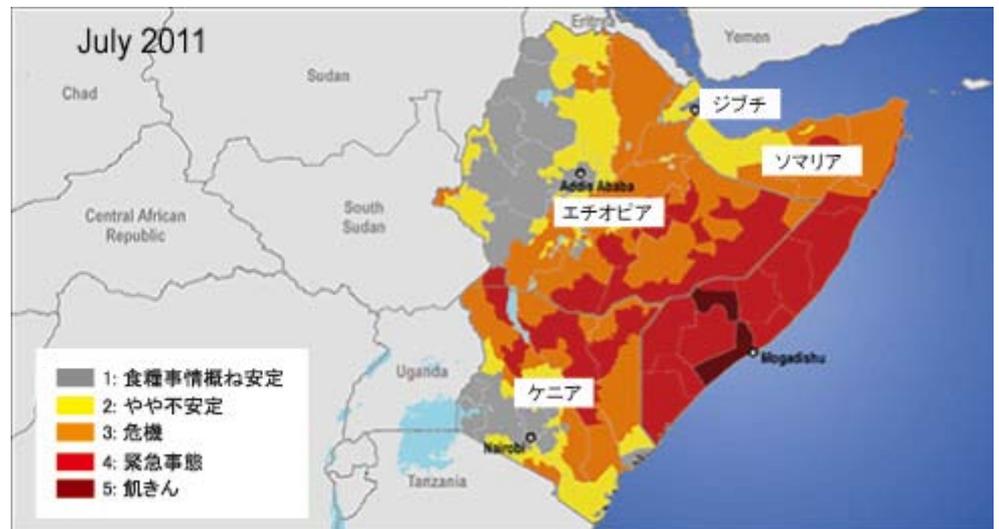




## 「アフリカの角」食糧危機と WFP の食糧支援活動



### 飢餓の五段階と「飢きん」の定義

- 食料安全保障関連の機関の多くは Integrated Food Security Phase Classification (version 1.1) という基準を採用し、飢餓の深刻度を五段階(概ね安定、やや不安定、危機、緊急事態、飢きん)に分類している。
- ソマリア南部で宣言された「飢きん」とはこの五段階の中で最も深刻な飢餓を指し、主に以下の 3 つの指標で判断される。
  - ① 20%以上の世帯が極端な食糧不足に直面
  - ② 子どもの 30%以上が急性栄養不良
  - ③ 人口 1 万人あたり毎日 2 人以上が死亡

### 食糧危機の原因

#### ① 干ばつ

- 去年 10 月～12 月にかけての雨期と、今年 3 月～5 月の雨期が少雨に終わった。
- ケニアとエチオピアの牧畜地帯で 2010～2011 年にかけての降雨量を調査したところ、調査した 15 地点のうち 11 地点で、1950 年以来最も少ない、もしくは 2 番目に少ない降雨量を記録した。
- ケニア北部とソマリア南部の一部では、降雨量が過去 15 年平均の 3 割未満。
- 次の雨期は今年 10 月から。次の収穫は年末～年初まで待たなければならない。

#### ② 紛争

- 避難民・難民の増加、収穫量の減少、支援活動の妨げにつながった。

### ③ 食糧価格高騰

- ソマリアでは穀物価格が記録的に高騰。南部ではこの一年間でソルガム(雑穀)の値段が 240%上昇。
- ケニアでは去年の 6 月以降、トウモロコシの値段が 160%上昇。
- エチオピアでは食料価格が去年から 38%上昇。東部の一部市場では今年 2 月と比べて 2 倍に。

### 食糧支援を必要としている人数とWFPの支援対象人数 (5カ国)

現在、ソマリア・ケニア・エチオピア・ジブチ・ウガンダ 5 カ国で 1,300 万人が食糧支援を必要としている。うち、WFP は 1,100 万人以上に支援予定で支援拡大中。(残りの 240 万人は当事国政府や他機関の支援を受ける。)

内訳は以下の通り。

ソマリア	370 万人(うち 220 万人はソマリア南部、30 万人はモガディシュ付近での支援)
ケニア	270 万人(うち 50 万人は難民)
エチオピア	370 万人(うち 23 万人は難民)
ジブチ	11 万人
ウガンダ	81 万人

### WFPの支援活動

「アフリカの角」食糧危機は目下 **WFP の最優先課題**。従来よりこの地域で行ってきた学校給食プログラムなどを継続しつつ、緊急支援を拡大中。特に弱い立場にある子ども、妊婦、授乳中の母親の栄養支援に力を入れていく。

#### <ソマリア>

- ソマリア中央部・プントランド・ソマリランドで 150 万人、モガディシュで 30 万人を支援中。モガディシュでは、毎日 20 か所で 8 万 5 千食の炊き出し。子どもの栄養不良の治療のための栄養強化食品等も配布中。
- 7 月 27 日～8 月 1 日に向け、モガディシュに向けて 6 回の空輸を行い、5 歳未満の子どもの栄養不良の治療に使うピーナツペースト状の栄養強化食品 84 トン(3 万人の 1 カ月分に相当)を輸送済。
- ソマリア南部で支援拡大の予定。Dolow(エチオピアとの国境沿い)と Elwaq(ケニアとの国境沿い)に、高カロリービスケット計 7.2 トンと上記の子ども向け栄養強化食品計 2.2 トンを空輸し、配給中。

#### <ケニア>

- ソマリア難民や干ばつがひどかった北部の住民など、180 万人を支援中。
- 難民キャンプでは子ども、妊婦、授乳中の母親を対象に栄養強化食品を配布。
- 難民キャンプに到着した難民に 3 週間分の食糧を配布。
- 栄養不良率が高い北部では、乳児対象の栄養強化食品配布。また 8 月の夏休み中も 59 万人を対象に学校給食を継続。

#### <エチオピア>

- 難民キャンプでは 5 歳未満の子どもの急性栄養不良率が 50%を超えるため、高カロリービスケットや栄養強化食品などを配布。
- ソマリア難民が殺到している難民キャンプに新たに事務所を設置。

### 活動資金の不足

- 食糧危機発生以降、WFP には 2 億 5,000 万米ドルの拠出金・寄付金が、各国政府や民間企業、個人などから寄せられた。
- 7 月 19 日、WFP は日本政府から「アフリカの角」での食糧支援活動に対し 500 万米ドルの迅速な拠出金の供与を受けた。拠出金はケニア、エチオピア、ソマリア、ジブチ、ウガンダで活用する予定。
- 今後半年間「アフリカの角」地域で計画通り支援活動を行うには、未だに 2 億 5,000 万ドルが不足。
- この地域では 50 米セントあれば、一日一人分の食事を提供できる。15 ドルで一人 1 か月分の食事がまかなえる。迅速な支援で被害拡大を防ぐことが求められている。